

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ぼっぼ		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同一法人内に就労移行支援・B型があるので卒業後の選択肢の幅が広がる	・面談時には年齢に合わせた将来の話をしたり進路相談等を行っている (必要に応じて就労の職員へ繋いだり相談支援員に情報提供をお願いしている)	・本人の強み、放デイ内での支援方法の伝達 ・実習によって分かった課題をフィードバックし放デイ内の支援で練習・強化していく
2	職員間の連携が出来ていて一貫した支援を行える	・定期的な会議によって支援の統一化を図れている ・密に情報交換をしている	・新しい職員への指導方法の統一化 ・情報交換、共有の再確認
3	保護者との良好な関係の構築	・日々の情報共有、定期的な面談を行っている (送迎時の迅速な情報共有、LINE、電話での対応) ・家とは違う事業所内での様子をお伝えすることで安心感を持てるよう配慮している (保護者から学校・他事業所の様子の情報共有をしてもらっている)	・今後も継続して情報共有を密に行っていく事で保護者との良好な関係を維持しつつ必要な支援が必要な時に行えるようにしていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所・他機関との連携不足	・自事業所内で解決してしまう傾向がある ・近隣の事業所、機関の把握が出来ていない	・併用利用児童についての担当者会議や連携を図る ・近隣事業所、機関の把握を行う
2	新規利用者の獲得が難しい	・自事業所の空き状況と利用希望が合わない ・放課後等デイサービスの増加 ・自事業所の強みを活かしてきていない	・自事業所についての強み、弱みを全職員が把握することでどの職員でも自信を持って答えられるようにする ・空き状況や事業所についての発信力を高める
3	地域の学校の利用者さんが休校日に休んでしまう	・活動内容のマンネリ化 ・屋外活動、外出機会が少ない	・楽しみを持ち利用してもらえるような活動内容を考える